

所信表明

平成28年6月吉日

新理事長 西本和俊（大阪大学名誉教授）

このたび、理事長に就任しました大阪大学名誉教授の西本和俊です。私のようなものがこのような大役を仰せつかりまして、嬉しい反面、責任の重大さに身の引き締まる思いです。協会においては、編集委員長を務めた点では前任の伊東理事長と同様でございますが、協会運営にかけては伊東理事長にはまだまだ力及ばずで、皆様にご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じます。しかしながら、伊東直前理事長のお力添えをいただき、一步ずつ、前任者に近づいていけるよう、努力を惜しまず邁進していく所存でございます。

私は3年間編集委員長を務めさせていただき出版事業に協力いたしました。出版事業は、当協会のもっとも中心になる伝統事業だと理解しています。創立以来4回の季刊誌を68年間絶えることなく継続して発行し、現在では創立70周年の記念プレ事業として、過去の全ての6000編にわたる論文を電子版で掲載する計画が着々と進み、現在36年前の1980年までさかのぼることができていると聞いています。

また、著者の賛同を得て、その執筆料を大阪大学未来基金に寄付し母校に大いに感謝されています。私もその伝統に倣い、出版事業を大切にしたいと考えています。当協会の歴史をたどれば、大阪大学と大阪地域の産業界が協力して科学技術を創出し、それを産業技術へと発展させることを目的としています。その目的を達成するために、時宜に合わせた様々なジャンルのセミナーを開催しております。

事務局がオフィスを構える大阪商工会議所の協力を得て大阪市立工業研究所の皆様と会員の方々との技術交流会、併せて、大学と中堅・中小企業との連携を図るための新しい試み(フレンドシップサロン)も6回を迎えました。今年は大阪大学基礎工学部と共同開催のセミナーを開催します。最先端の技術の動向を紹介するハイテクセミナーも、間もなく30年を迎え、研究熱心な企業の方が毎年多く参加されています。

学生の論文発表の奨励事業については、大阪大学を中心に、海外での大阪大学大学院生の論文発表をサポートする海外論文発表の奨励や、海外からの講師による講演会を支援する事業も行ってまいります。今やすべての分野で国際化が進み、企業の国際戦略と地道な人材育成は、年を追うごとに重要になっています。科学の振興を通じて、教育+研究はすなわち地球未来の創造、と考えています。会員の皆様に於かれましては、身近な話題に始まり、企業の国際戦略に関わる重要な情報の交換に生産技術振興協会のセミナー等や分科会を活用していただきたいと思います。

今後とも、生産技術振興協会の活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。私も理事長として微力ながら、今後も当協会の発展のために尽くしていきたいと思っておりますので、変わらぬご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。